

令和7年度

# 幼稚園だより 6月号

文京区立小日向台町幼稚園

## 子どもの表現をともに楽しんで

副園長 川畑 優

梅雨の季節が近付いてきましたね。子どもたちは、アゲハチョウのサナギを不思議そうに観察したり、砂場で泥に触れたりして元気いっぱい遊んでいます。

小日向台町幼稚園では、教員がともに学び合い、指導力の向上を図る園内研究を進めています。今年度のテーマは「表現を楽しむ幼児を目指して～幼児の思いを実現させるための教師の援助や環境構成～」です。私たちは、子どもが作って遊ぶ場面に着目し、子どもの「〇〇するのが好き」「〇〇がしたい」という「思い」を、動きや言葉などから読み取りたいと思います。そして幼児が、もっと遊びたくなる、わくわくする教材等について、教員皆で学び合うことに努めていきます。

各保育室を巡ると、子どもたちの様々な「表現」に出会います。

たんぽぽ組では「むしゃむしゃ、ぱくぱく」という言葉とともに、担任と子どもが、ピザに見立てた紙を持って食べる真似をしていたり、合同で遊んでいるばら・ゆり組には、子どもたちの他に、抱っこやエサやりができる手作りの動物がいたりするなどです。

そしてさくら・すみれ組の子どもが、遊戯室の製作コーナーから、自分が「これだ」と感じたものを選んだり、何回か組み合わせを試し「う～ん・・・」とじっくり考えたりする場面に時々遭遇します。園内研究を通して、子どもの笑顔、悩みのつぶやきなどから、その子の「思い」を学ぶことを楽しみにしております。

季節柄、室内で過ごす時間が増えることが予想されます。子どもたちが発達に応じた道具や教材と出会い、表現することを楽しめるよう、今後も計画的に指導を行ってまいります。お子さんが表現した何かを持ち帰ったときには、どんな思いが詰まっているのか、ぜひ話を聞いてあげてください。



紙とシールで作ったピザ。  
美味しいね。



空き箱で作ったヤギと丸い形のヒヨコ。餌も手作りだよ。



必要なものを創り出す、  
製作コーナーです。